

 株式会社 **進 和** **Joining the World Joining the Future**

<https://www.shinwa-jpn.co.jp/>

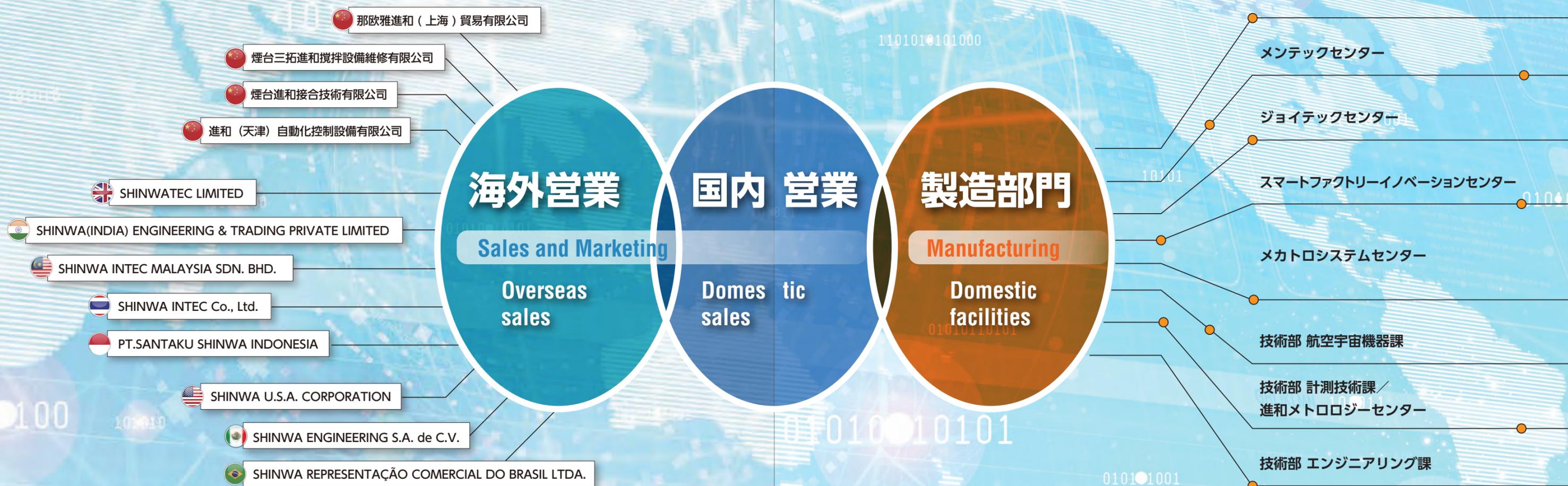


CORPORATE PROFILE

会社案内

SHINWA POWER

進和は「モノづくり」に欠かせない
基幹技術のひとつ「金属接合」を
事業の核とした開発・提案型商社です。



私たちの3つの力を
未来へ進む
“お客様の力”に。

営業、製造、管理の3つの部門が生み出す
SHINWA POWER で、世界中のお客様から
期待される企業を目指します。



つなげる力

Sales and Marketing Division

卸売、物流という商社機能を超えて、
サービス・技術・商品をお届けしたい。
海外と国内、お客様と協力企業をつなぐ営業部門。



形にする力

Manufacturing Division

モノづくりを支えるメンテナンスや受託加工、
制御系ユニットやシステムの提供、
設備製造、計測技術を通じてお客様のニーズを形にする製造部門。



支える力

Management Division

安全管理、経理財務、人材開発、内部統制。
会社の財産を管理し、企業価値向上を担う管理部門。

01

つなげる力

Sales and Marketing
営業部門

生産現場の最前線でニーズをとらえ
モノづくりの課題をお客様とともに
解決します。

	中部本店
営業本部	東日本支店
	西日本支店
海外事業本部	海外営業部

多彩な技術や商品を“つなげる力”でお客様へ。

グローバル化、新技術、価値の変化。イノベーションを要求する市場は次々と姿を変えていきます。

境界を超えて広がる市場に挑む、進和のフロンティアスピリット「三拓の精神」。

“つなげる力”が新たなソリューションを提供します。



国内営業部

得意先は3000社、仕入先は4000社を超え、中部、東日本、西日本、3つのエリアをカバーする営業部門は有機的に機能しながら、モノづくりに必要なハードウェアからソフトウェア、物流からメンテナンスまで、お客様のニーズに柔軟に対応します。



施工管理室

現地工事の安全管理、進捗管理を行うスペシャリスト。お客様の現場で作業に潜むリスクを把握し作業関係者の安全管理に努めます。

海外営業部

海外進出を加速させる製造業。顧客のグローバル化は進和の目指す市場の拡大を意味します。日系企業の海外拠点と国内メーカーをつなげ、海外メーカーと国内顧客をつなげるインターフェイス役を海外営業部は担っています。



海外技術支援室

海外メーカーのリサーチや、力量判断などを行い、海外に進出した日系企業の現地化やメンテナンスをサポート。



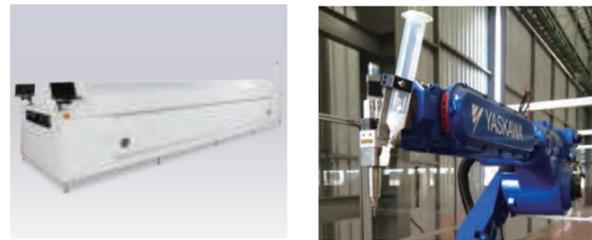
情報力・機動力・企画力・提案力・解決力 接合技術を核としながら分野を超えた活躍フィールド。

お客様のニーズに最適解を求め、商社機能とメーカー機能を活用する、進和のエンジニアリングパワー。
自動車関連産業を中心に電機、精密機器、エレクトロニクス、石油化学、製紙、ゴム、樹脂、鉄鋼、通信機器、航空宇宙関連等、幅広い産業界の要望に対応します。



接合材料分野

特殊溶接材料、ろう材、ケミカル製品の販売分野は創業以来の伝統ある商品部門。国内外のメーカーの豊富な商品群を提供します。



産業機械・接合機器・FAシステム機器分野

自動車、空調機器等の製造ラインを構成する各種産業機械をワンストップでお受けします。



自社製品分野

特殊肉盛溶接、真空ろう付、フィールドネットワークシステム、治具設計製作、塗布装置、計測事業。
蓄積されたノウハウをベースに常に技術革新に挑んでいます。

Domestic Market

国内ネットワーク

国内に10の営業拠点、9つの開発製造拠点を設けて、お客様のモノづくりを強力にサポートしています。

北海道～九州まで
国内19拠点

● 販売拠点 ○ 製造拠点



本社ビル

東郷物流センター

Overseas Business

進和のグローバルネットワーク

特殊肉盛溶接材料の輸入から始まった進和の海外取引。

1987年米国ケンタッキー州に設立した進和U.S.A.を皮切りに、海外拠点は世界10ヶ国12現地法人に広がり、お客様のグローバル化をサポートしています。

世界を結ぶ 海外 12 現地法人

- 販売拠点(現地法人)
- 販売拠点(分公司・事務所)
- 製造拠点(現地法人)



SHINWA U.S.A. CORPORATION
(アメリカ/ケンタッキー州)
1987年設立
・ ナッシュビル事務所
・ サンアントニオ事務所



SHINWA ENGINEERING S.A. de C.V.
(メキシコ/ケレタロ)
2017年設立
・ アグアスカリエンテス事務所



SHINWA REPRESENTAÇÃO COMERCIAL DO BRASIL LTDA.
(ブラジル/ソロカバ)
2010年設立



SHINWATEC LIMITED
(イギリス/パートナー・オン・トレント)
1998年設立
・ 欧州駐在員事務所



SHINWA (INDIA) ENGINEERING & TRADING PRIVATE LIMITED
(インド/バンガロール) 2008年設立
・ デリー事務所
・ チェンナイ事務所
・ グジャラート事務所



SHINWA INTEC MALAYSIA SDN. BHD.
(マレーシア/ペタリンジャヤ)
2013年設立



SHINWA INTEC Co., Ltd.
(タイ/バンコク)
2000年設立



SHINWA INTEC Co., Ltd. Chonburi MTC Factory
(タイ/チョンブリ)
2008年設立



PT. SANTAKU SHINWA INDONESIA
(インドネシア/ブカシ)
2012年設立



那欧雅進和(上海)貿易有限公司
(中国)
2003年 設立
・ 天津分公司
・ 広州分公司
・ 蘇州分公司
・ 長春分公司
・ 成都連絡事務所



煙台三拓進和攪拌設備維修有限公司
(中国)
2009年設立



煙台進和接合技術有限公司
(中国)
2004年設立



進和(天津)自動化控制設備有限公司
(中国)
2011年設立
・ 蘇州分公司

02

形にする力

Manufacturing 製造部門

モノづくりを支える生産設備から
システムの設計、開発、製造、計測、部品接合や
メンテナンスまで、バラエティーに富んだ
製品・サービスを届ける7つの製造チーム。

- 1 メンテックセンター
- 2 ジョイテックセンター
- 3 スマートファクトリーイノベーションセンター
- 4 メカトロシステムセンター
- 5 技術部 航空宇宙機器課
- 6 技術部 計測技術課 (進和メトロロジーセンター)
- 7 技術部 エンジニアリング課



1 メンテックセンター

MAINTENANCE TECHNICAL CENTER / 1964年設立

- 特殊肉盛溶接補修
- スクリュー・バレル製作
- 混練機、フィーダー等オーバーホール
- 解析ラボによる研究開発、流体・応力解析
- レーザクラディング

世界3拠点でサービスを提供



メンテックセンター名古屋工場

中国

タイ

モノづくりの現場において、生産設備・機器の部品補修・復元から、スクリュー・バレル等の加工製品製作、設備のオーバーホール等を数多く手掛けてきたメンテックセンター。

これまでの実績から構築された補修知識・ノウハウを元に、事業の核となる肉盛溶接・溶射技術の“進化・深化”を図りながら、設備・機器の Value Up と世界最適調達をサポートしてまいります。



スクリュー修正前



スクリュー修正後

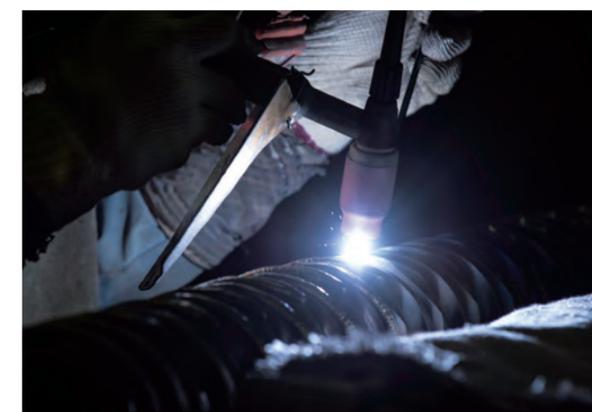
特殊肉盛溶接補修、表面処理加工

窒化スクリュー、硬質クロムメッキスクリューは、肉盛溶接による補修が可能です。スクリューやバレルの種類と用途により、ステライト、コルモノイなどの溶接材料を選定し、最適な肉盛工法で耐食、耐摩耗、耐熱性を向上させ、補修部品の長寿命化を図ります。



一貫体制のオーバーホール

世界3拠点(日本、タイ、中国)にて、混練機やロータリーフィーダーの肉盛溶接による部品補修、部品製作・交換、分解から組立までの一貫作業を実現。さらに付随する周辺機器のオーバーホールもお任せください。性能向上・長寿命化に対する解析データに基づく提案型メンテナンスを得意としています。



高機能・高品質な加工製品

メンテナンス事業で培われた溶接・溶射技術をベースに、製造現場のニーズを捉えた高機能・高品質なスクリュー・バレル等加工製品の新規製作に対応。耐食・耐熱・耐摩耗性に優れたコバルト、ニッケル、セラミックス系等の各種素材・仕様を取り揃え、多様な製品の加工・製作を承ります。



最先端のレーザクラディング技術

社内にテストラボを常設し、適応検討を実施。半導体レーザを用いた新しい肉盛加工技術である“レーザクラディング”の研究開発や、流体・応力ソフト解析により、それぞれのお客様へ最適なオーバーホール提案を可能にしています。

2 ジョイテックセンター

JOINING TECHNICAL CENTER / 1959年設立

日本・中国でサービスを提供



ジョイテックセンター 中国

- ろう材・リング、ペースト、補助材料等製造販売
- オリジナルろう付け製品開発、新技術開発
- ろう付加工、真空熱処理等受託生産
- 部品試作、量産時生産サポート

ろう付け技術は、自動車や家電製品に代表される生活用品から航空・宇宙産業まで長い間、幅広く産業界で用いられています。特に近年はハイブリッドカー部品や熱交換器部品をはじめとした環境保護製品の分野に活かされています。ジョイテックセンターでは、ろう付け材料の製造や、ろう付けに係る技術開発、試作品製作から受託加工までサポートし、金属を“つなぐ”技術で、広く社会に“うれしさ”を届けています。



多種多様なろう材・化成品製造

お客様の用途に合わせた、多種多様なろう付け材料やフラックス・ペースト等の化成品、補助材料を製造・販売しております。金属接合のスペシャリストだからできる、現場のニーズにフィットしたオリジナルブランド商品開発も行っています。



技術開発力に裏打ちされた試作対応

お客様の新製品プロジェクトにおいて新しい接合技術の開発やそれに必要なろう材・設備等の開発を行っています。さらに、量産化を見据えた試作製作にも対応。充実の設備環境と独自のろう付け材料を開発できる強みを活かして、試作品の課題・問題をクリアしています。



生産性・品質向上に応える受託加工サービス

金属接合のスペシャリストとして、母材・熱源・ろう材等の接合品質を決める基本要素をベストバランスで組合せ、常に最適な接合にて受託加工サービスを行います。さらに、ろう付けを伴うASSYやユニット化にも応え、お客様の生産性向上・品質向上をサポートします。



最適なろう付け熱処理で量産体制をサポート

自動車や電機、航空宇宙産業をはじめとする様々な分野の量産化をサポート。最適なろう付け形状・材料・工法・設備・加工条件を導き出し、万全の管理体制の元で量産を行い、お客様への高品質なろう付け品をお届けします。

3 スマートファクトリーイノベーションセンター

SMART FACTORY INNOVATION CENTER / 1984年設立

日本・中国でサービスを提供



スマートファクトリーイノベーションセンター SFiCラボ 中国

- 生産情報システムの構築
- デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進・導入
- 産業設備機器の製作

生産情報システムや品質管理検査システムは、モノづくりに欠かせないツールのひとつです。スマートファクトリーイノベーションセンターでは、生産現場に必要な管理システムの開発、設計、構築から制御系端末機器の製作まで、個々のユーザーニーズに対応した製品の開発・製造をしています。可視化から始まるIoT導入に向けたネットワーク構築、エンジニアリングサービスを提供いたします。



生産情報システム

生産指示情報が工場全体を行き来するためのネットワーク構築、収集した生産情報を活用した稼働状況モニターや生産指示システム等の各種システム群構築を行っています。



デジタルトランスフォーメーション(DX)

収集した各種生産情報の更なる活用としてAIやシミュレーション、最新デバイスを活用したご提案を行っています。将来的には収集したデータをもとに設備の稼働に影響のある兆候を予知し、アラートとして挙げ、止まらない工場の実現に向けた支援も目指しています。



生産設備機器の製作

生産情報システム構築やDX推進・導入において、これまで積み重ねてきた各国仕様にあわせたグローバル対応や、標準化によるコストダウンを図るとともに、ムリ・ムダ・ムラの改善を考慮した産業設備機器を製作し組み合わせることで、お客様の新たな価値創造を目指しています。



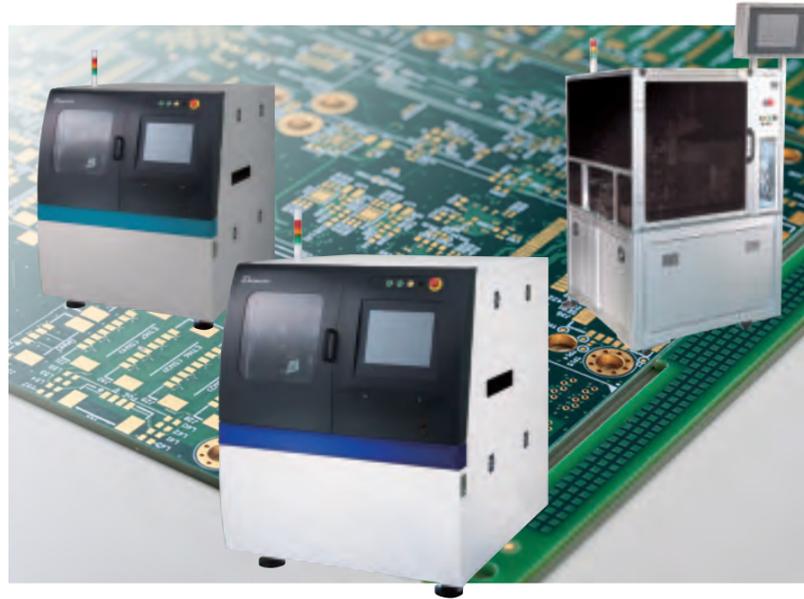
SFiCラボ

愛知県小牧市に開発ラボを構え、実機体験やお客様との検証、開発を行い、お客様の生産性・品質向上をサポートしています。

4 メカトロシステムセンター

MECHATRONICS SYSTEM CENTER / 2006年設立

エレクトロニクス産業向けの生産機器の開発、設計、製造を手掛けるメカトロシステムセンターのテクニカルキーワードは、超精密微量塗布。近年の基盤実装や半導体製造の後工程の分野に、今までにない品質と利便性を提供するシンワディスペンサーシリーズは、すでにモバイル端末、半導体関連業界において、高い評価を受けています。



- 超精密微量塗布装置 開発・設計・製作
- ユーザーカスタマイズ提案
- 試作トライ・装置レンタル



ディスペンシングの新しい常識が始まっています。

春日井事業所では精密塗布装置「Quspa」の製造に加え、お客様との試作や実験、評価、開発を行う拠点として、ディスペンサーの新たな境地を切り拓きます。

5 技術部 航空宇宙機器課

AEROSPACE SYSTEM SECTION / 2008年設立

国産ロケットや航空機など、航空宇宙産業において溶接工程で必要となる治工具の設計・製作、およびメンテナンス事業を行っています。また流体解析、応力解析ソフトを利用して形状最適化のシミュレーション、デザイン改善のサポートを承ります。地球を周回する国際宇宙ステーションから、生産ラインの省力化、自動化の構築まで航空宇宙機器課の活躍の場は広がっています。

- ロケット、航空機生産用溶接・組立治具 設計・製作・メンテナンス
- 一般産業用自動制御機器 設計・製作



宇宙開発関連

- ロケット燃料タンク溶接装置、治具 (HII・HIIA・HII B・H3開発)
- 宇宙ステーション関連施設用溶接治具
- ロケットエンジン用ろう付材料 ほかにHTV用積荷搬入装置

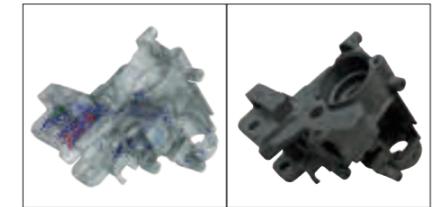
6 技術部 計測技術課

METROLOGY AND INSPECTION ENGINEERING SECTION / 2016年設立

自動車や産業機器において、品質管理や新製品開発には非破壊による三次元計測の活用が不可欠になっています。進和メトロロジーセンターでは計測検査装置を常設し、最先端計測技術であるX線CT計測機器と、インライン全数検査システムを軸とし、設備・エンジニアリング・ソフトウェア・受託計測サービスまで幅広くご提供しています。



SHINWA METROLOGY CENTER
進和メトロロジーセンター



内部欠陥解析後データ 実物写真

非破壊検査のX線CTの他にも、外観検査装置を複数台 保有し、テストトライを含めたマシンビジョンの検証サービスも承っております。

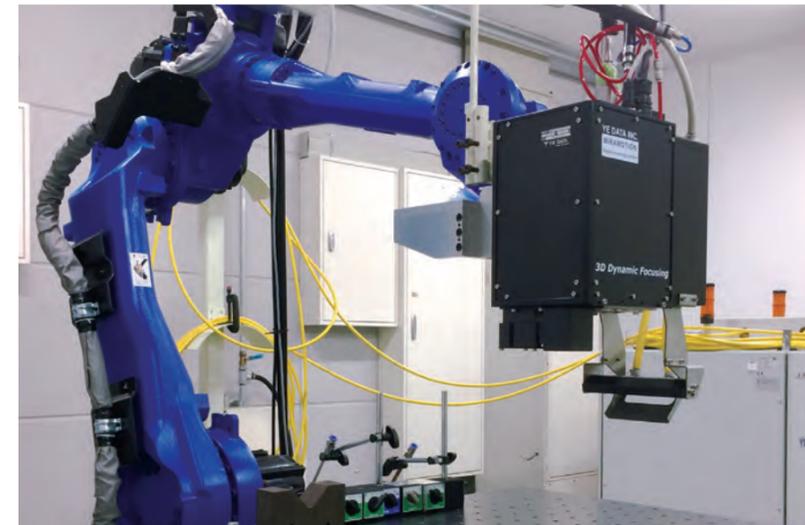
- 計測検査機器販売、関連設備・ソフトウェア販売
- 受託測定サービス
- 計測検査システム技術サポート

7 技術部 エンジニアリング課

ENGINEERING SECTION / 2017年設立

CASE など加速する時代のニーズに対応するために、ろう付け接合（ブレイジング）、肉盛溶接（クラディング）、溶接（ウェルディング）など金属接合技術の技術開発に取り組み、特に自動車業界における電池やモーターなどの車載ユニットで採用される、銅などの非鉄金属加工ニーズに対応するため、レーザー設備などの最先端設備を導入しています。

- 金属接合／表面処理、要素技術開発サポート
- 自社製品の工法開発、生産技術支援



・ファイバーレーザー装置 (マルチモード6kw発振器)



・グリーンレーザー装置 (2kW)



・ブルーレーザー装置 (1.5kW)

03 支える力 Management 管理部門

コンプライアンス、内部統制
文化・スポーツ支援、社会貢献活動。
私たちはこれからも、企業価値向上に努め
様々な社会的責任を果たしてまいります。

安全衛生管理室

内部監査室

経営企画室

経理部

調達部

情報システム部

総務部

安全衛生活動への取り組み

品質〈Quality〉、コスト〈Cost〉、納期〈Delivery〉、3つの視点に安全〈Safety〉をプラスする。

Safety-first（安全第一）というスローガンは、1900年代初頭、アメリカで誕生し現代の産業界に広がっていきました。

取引先の製造現場で、会社の工場で安全意識を高め、基本ルールを守り、ゼロ災害をめざす。

安全文化の醸成は信頼、信用を創り出すことだと信じています。

安全標語

高めよう安全意識、守ろう基本ルール、めざせゼロ災害



進和 safety 大会

全国500社を超える工事関連の協力企業とともに進和 safety 協議会を運営。

春、夏、年末の年3回、営業エリアごとで safety 大会を開催しています。



協力メーカーへの教育 海外現地法人での作業責任者教育

日本国内にとどまらず、海外拠点での協力メーカーや現地法人スタッフへの安全教育を展開。安全意識の向上に努めています。



現場でのトップ安全パトロール 安全衛生点検を実践

現地現物主義にたちかえり経営者自らが、安全第一の声掛けをするため、進和各製造部、客先工事現場へのパトロールを重ねています。

安全行動の徹底とゼロ災害を目標に活動

社長を安全衛生最高責任者とし、管理本部内に安全衛生管理室、営業本部内に施工管理室を設置。不安全行動の撲滅とゼロ災害を目標に活動しています。

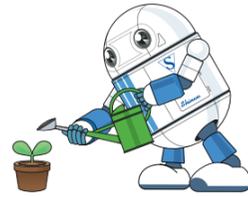
CSR への取り組み

未来をともに創る企業であるために、進和は考え、行動します。

広く産業界の発展をサポートする当社は、企業市民として社会的責任を果たしていくことを重要な経営課題として認識しています。

企業価値向上のため、法律遵守の徹底、内部統制の整備を進め、環境への配慮、安全衛生活動への取り組み、地域社会との共生を見つめてきました。

小さな芽がやがて大きな樹となるよう、小さな取り組みの積み重ねが、地球の未来を創る。そんな企業として進和は歩いていきたいと思っています。



コンプライアンスの徹底

「透明性、公正性の高い経営管理組織体制の強化」、「厳格な法令・社会倫理の厳守」そして「環境・安全への取り組み」の3つを軸に、事業の拡充に取り組んでまいりました。当社グループの役員、従業員および構成員はこれからもコンプライアンスを徹底することで企業として、人として高い倫理観をもった集団であり続け、様々なステークホルダーの方々から、信頼される存在になることを目指してまいります。またこれらを実現するための内部統制システムはそのまま整備・運用状況を絶えず評価し、継続的に充実させ強化を図っています。



安全衛生方針

安全な人づくり、職場づくり、環境づくり、体制づくり、そして社員が高い安全意識を持つことを心がけすべての人が安心して働ける環境の構築、維持管理を推進する。



環境方針

株式会社進和は地球環境の保護、保全が全地球規模での喫緊の最重要課題であることを認識し我々の事業活動、製品、サービスおよびそれらにかかる事項・案件等を通じて、継続的な維持と改善活動に努め、地域、社会に貢献する。



品質方針

品質マネジメントシステムの有効性を継続的に改善し、顧客に信頼されるグローバル企業をめざす。

ISO 認証取得



品質管理に関する国際規格「ISO9001」を認証取得

ISO9001:2015/JIS Q9001:2015
認証番号 JQA-QMA14518
認証取得日 2002年3月1日



環境保全に関する国際規格「ISO14001」を当社および国内子会社2社で認証取得

ISO14001:2015/JIS Q14001:2015
認証番号 JQA-EM6782
認証取得日 2007年4月6日



航空・宇宙・防衛に関する品質マネジメントシステム「JIS Q9100」を認証取得

JIS Q9100:2016
認証番号 JQA-AS0090
認証取得日 2009年8月27日

地域社会への貢献



交通安全街頭監視

守山尾張旭交通安全協会、守山警察署管内運転管理協議会の交通安全活動に参画。近隣小学校の活動にあわせ1991年より、月2回立哨活動を継続しています。



地域防災

苗代学区防災安心まちづくり委員会へ参加。名古屋市が提唱する防災安心まちづくり運動の趣旨に賛同し、大規模災害時における被災者支援に協力します。



海外での取り組み

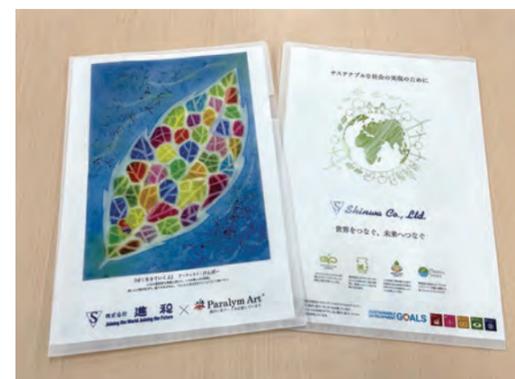
シンワインテックでは、近隣の小学校の校庭整備や大規模な水害にあわれた被災者の方々に救援物資の提供等、活発な活動を続けています。



被災地への義援金、愛知県更生保護協会への寄付金

東日本大震災、熊本地震、西日本豪雨等、災害に見舞われた方々の救済や被災地支援に役立てていただくため義援金の寄付を行っています。また地域社会から犯罪や非行のない明るい社会を作る目的で設立された愛知県更生保護協会へ参加し、そこで活動される人々に協力、援助を行っています。

文化・スポーツ支援



オフィシャルパートナーとして障がい者アートを応援

2022年 障がい者の自立につながる支援活動として、一般社団法人障がい者自立推進機構が運営する、Paralym Art (パラリンアート) のオフィシャルパートナーになりました。障がい者アーティストが作成したアート作品を飾ったり、クリアファイル等のPRツールとして活用しています。



新商品の開拓

新規需要家の開拓



新規需要の開拓

社訓

三拓の精神

1955年(昭和30年)制定

私たちの前身である株式会社進和商会は1907年(明治40年)に設立され100年を超えて現在の株式会社進和へと繋がっています。そのパイオニア精神を受け継ぎ“三拓の精神”が打ち出されました。産業界のニーズを先取りした技術や商品開発に挑戦し新規顧客を創出していくこと。この先人の教えは精神的な指針として21世紀の今日まで受け継がれています。

コーポレート・メッセージ

Joining the World Joining the Future

「世界をつなぐ、未来へつなぐ」

進和の企業使命

金属接合を事業の核とし製造部門を持つエンジニアリング商社として
産業界のニーズを的確にとらえ、高度なソリューション提供により人、モノ、社会をつなぎ、未来へ続く付加価値創造を实践することで、
世界中のお客様から期待される企業となることを目指す

企業行動指針

1. 現地・現物・現実主義の信条とフロンティアスピリッツをモットーに、常に取引先の安心と信頼、満足を追求するため積極果敢なチャレンジをする
2. 企業活動にあたり国際的なルール及び各国各地の諸法令を遵守するとともに、社会規範、社内規定に則った真摯な姿勢のもと責任ある行動をする
3. 「安全はすべてに優先する」との意識を常に全社員で共有する
4. 自由闊達な社風の中で社員に対し、個々を尊重し夢と誇りをもって仕事ができる環境を整え、健康で安定した生活の実現に努力する
5. ステークホルダーならびに社会一般へ、適切に管理された企業情報を公正に開示する
6. 自然環境の保護・保全に努め、人と地球に優しい社会の創生に参画する
7. 企業市民として社会貢献活動を推進し、あたたかな地域社会と共生する

メッセージ

MESSAGE

私達の使命

はじめに、70余年にわたる進和の歴史を支え発展を後押しして下さったお客様、ビジネスパートナー、従業員、投資家、関係するすべての方々に、心より御礼申し上げます。

21世紀に入り、技術革新だけでなく、ビジネススタイルや当社を取り巻く事業環境など、我々の生きる現代社会は過去に例を見ない速さで変化しています。

そのような環境で発表した第4次中期経営計画は、これまで培った「強み」とはなにかを改めて見つめなおし、持続可能な事業成長を実現するための具体的な戦略を示しています。

第4次中期経営計画の最終年度である2026年8月では、過去最高の売上収益を目標として掲げていますが、この目標を達成するための進和が持つ5つの要素を紹介します。

①材料接合技術

試験/検証のインフラ、アプリケーション開発から受託加工までをカバーする、包括的で特化した独自性のある技術をお届けします。

②製造業に対する深い知見を持った経験豊富なチーム

世界中の地域で製造ライン構築のプロジェクトを経験したチームは、豊富な知見・スキルを蓄積しており、お客様に対し、より付加価値の高いソリューションを提供します。

③新技術を取り入れる柔軟性と迅速さ

商社ならではの、商流・物流・物量を活かしたトレーディング機能と、エンジニアチーム、製造部門をかけ合わせるにより、新しい製品や技術をより迅速かつ柔軟に取り入れます。

④強固な財務基盤

堅実な経営による財務基盤とキャッシュフローによって、積極的な人財投資と新規事業投資を行う十分な体力を備えています。

⑤海外とのビジネスネットワーク

今日、当社のビジネスネットワークはグローバルに広がっており、海外・国内の境界を越えて、さらなる成長を目指します。

さらに、進和グループはサステナビリティへの取組みを重要な経営課題と位置付けています。「ビジネス拡大=営利活動」「社会問題への取組み=慈善活動」といったように分けて考えるのではなく、気候変動、ダイバーシティ、地域共生などの社会課題に真摯に向き合い「持続可能な社会の実現」と「事業の持続的な成長」に取り組み、新たな未来に向かって進んでいきます。

代表取締役社長

瀧谷 善郎



Origin

進和の起源 ～100年 企業へ～

1951年 → 1991年

1951年(昭和26年)大阪で産声をあげた進和商会はアメリカ製「ユートイクティック低温溶接棒」の中部代理店契約を結び、営業の拠点を名古屋今池へ移転。内山町の民家を改造した7坪の本社からスタートしました。やがて1962年本社ビルを池下へ移転し、モータリゼーションの進展とともに成長する自動車産業とともに事業を拡げてきました。

1973年(昭和48年)4月(株)進和へ社名変更。

1959年、当時では新しい加工技術だった真空炉を導入しロウ付け、熱処理のサービスを提供する中央ケミカル工業を設立した後、金属溶射、プラズマ溶接といった新技術で特殊肉盛溶接加工、溶射加工のニーズに応えるべく本社工場(現本社ビル)を1964年に稼働させます。

◆金属接合技術の進和、はここに始まる。



1954年頃
千種区内山町 本社風景



1962～1991年
進和本社ビル(千種区池下)



1959～1988年
ジョイテックセンターの前身
中央ケミカル工業株式会社
(守山区川宮町)



1964～1989年
進和本社工場(現本社ビル)
北西の交差点方向からみた全景。

1991年 → 21世紀へ

Joining the World Joining the Future のコーポレートメッセージは進和のOriginから続くスピリットを表現しています。

低温溶接棒の輸入からスタートした進和の海外取引も、現在、お客様の海外進出にともない9か国12拠点の海外現地法人を設立するまでとなり、300名を超えるグループ社員が活躍しています。

また製造部門をもった商社として、創業から続くモノづくりへの情熱をさらに世界へ未来へつなげていきます。

進和のさらなる飛躍にご期待ください。



1991年
本社を
名古屋市守山区へ
移転



2005年
東証一部上場



2019年
物流の中核を担う
東郷物流センター
稼働スタート



Joining the World Joining the Future

株式会社 進和は、モノづくりのパートナーとして
これからもお役に立ちたいと考えております。
どうぞお気軽にご相談ください。

漢字商標と社章

進和

当社の漢字商標は中国大連で明治38年に創業した進和の前身、株式会社進和商会から使用されてきた隷書と呼ばれる筆体で揮毫されたものです。隷書は漢の時代に篆書からより実用的に簡略化された筆体で、紙ではなく竹や木簡に書くために整えられたとされます。文字は扁平で、縦画横画は垂直水平であることを意識された形で、特徴として波線(はたく)という波状の右払いをすることが多いようです。筆圧を維持しながら右上方向へ払い上げる様は、企業の業容拡大を右肩上がりという願いを込めて先達の方々を選んだといわれています。



当社に残っている古い資料では1927年(昭和2年)旧満州国大連に本社を構えた旧進和商会の建屋や看板に社章をみることができます。明治、大正、昭和初期を駆け抜けた進和商会ですが、アルファベットを基調とした社章は当時大変モダンなマークであったと想像できます。逆二等辺三角形にSの字をはめ込んだデザインは、一説ではVictoryのVを表現しながら、回転するコマをイメージさせ、高速回転することで安定し、旋風を起こす姿に当社の躍動感を表現していると伝えられています。